



# 砺波総合病院から

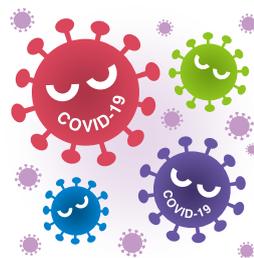
病院のホームページもご覧ください。

市立砺波総合病院 ☎32-3320

## 新型コロナウイルスに対する

## 病院の対応

新型コロナウイルス感染症対策本部 廣田 幸次郎



昨年から流行を続ける新型コロナウイルス感染症も今や第4波を迎えつつあります。最近では変異型ウイルスの流行が危惧されていますが、基本的な予防方法は同じです。マスクや手指の消毒は極めて有効な予防手段であり、「ノーマスクで15分」だと感染リスクが高くなります。また、感染しているのに症状のない人が約2割存在し、発症した人でも発症2日前からウイルスを拡散しているので患者さん本人が気付かないうちに感染を拡げることになります。症状の有無にかかわらず、一人ひとりがしっかり感染予防していくことが大切です。

検査できる環境が整った中、一つ注意が必要です。いかに精度の高いPCR検査といえども、感染者が陽性になる確率は平均70%に過ぎないといわれています。つまり、10人のうち3人は感染していても検査結果が陰性となる可能性があり、検査結果を決して過信しないことが大切です。体調が悪い時にはまず休みを取り、症状が続けば医療機関に相談して検査などを受け、結果が陰性であっても症状が改善されるまでは極力他人との接触をさけることをお勧めします。

検査できる環境が整った中、一つ注意が必要です。いかに精度の高いPCR検査といえども、感染者が陽性になる確率は平均70%に過ぎないといわれています。つまり、10人のうち3人は感染していても検査結果が陰性となる可能性があり、検査結果を決して過信しないことが大切です。体調が悪い時にはまず休みを取り、症状が続けば医療機関に相談して検査などを受け、結果が陰性であっても症状が改善されるまでは極力他人との接触をさけることをお勧めします。

中止のほか、予定手術の延期や救急外来の閉鎖も余儀なくされます。そのような事態を招かぬよう、当院では次のような対応を取っており、一部を紹介します。

- ① 病院入口の制限  
出入口を一部閉鎖して絞り込むことで患者さんの確認体制を強化しています。
- ② 入口での体温チェック  
(アイサーモグラフィ)
- ③ 発熱外来の設置  
発熱などの症状がある患者さんは、一般外来とは別の場所での診察や検査を実施しています。これまでは仮設テントであったため、夏は大変暑く、冬は寒さのために患者さんだけではなく職員の疲弊も大変なものでした。新型コロナウイルス感染症の長期化を見越して、この4月からは情報支援棟を改修して常設の発熱外来である「診療支援センター」を開設しました。感染対策を充実させるとともに
- ④ 面会制限  
患者さんや職員の負担軽減を図り、医師会とも連携を図って地域医療を守ります。
- ⑤ 全身麻酔の手術前の患者さんや入院患者さん全てに新型コロナウイルスのPCR検査や抗原検査を実施
- ④⑤ともに、病棟内へのウイルスの持ち込みを防ぐ目的で実施しています。ご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



診療支援センター